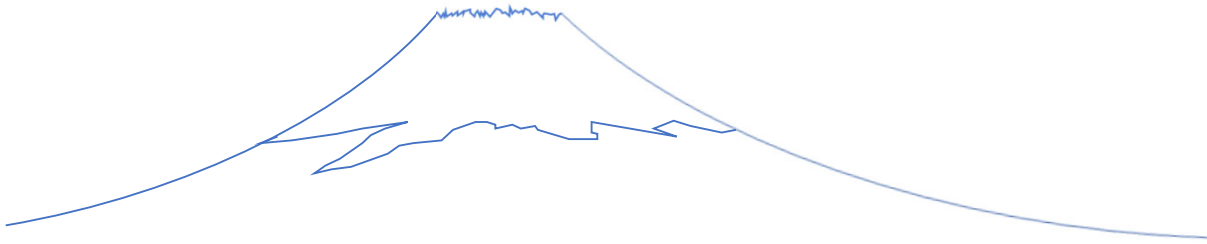


# 富士山麓を「歩く旅」をもっと楽しむSTORY

みんなでつくり、みんながつかう

東海自然歩道でつながる富士山麓インタープリテーション全体計画



## 富士山麓ならではの価値1：火山としての富士山と麓の多様な生態系

- 1-1 富士山の姿
- 1-2 富士山の火山活動を感じさせる地形地質
- 1-3 富士山に降って地上に湧き出る水の旅
- 1-4 富士山の麓で暮らす生き物たち
- 1-5 自然を未来へつなぐ環境保全活動

## 富士山麓ならではの価値2：富士山と信仰、人々の暮らし

- 2-1 世界文化遺産「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」
- 2-2 富士山を見た歴史上の偉人たちの足跡
- 2-3 富士山の火山灰で覆われた痩せ地ならではの産業
- 2-4 富士山信仰だけでない地元のお祭り

## 富士山麓ならではの価値3：富士山麓の食の恵み

- 3-1 地域の胃袋を支える麺料理
- 3-2 富士山の森・山・湖の食材
- 3-3 命とつながる畜産とジビエ

## 富士山麓ならではの価値4：感動と学びを得る旅の舞台

- 4-1 富士山を見ても見なくても楽しめるアクティビティ
- 4-2 富士山周辺に集まる研究・教育施設



1-1

富士山麓ならではの価値-1：火山としての富士山と麓の多様な生態系

## 富士山の姿



## 紙幣にも描かれた美しい姿が、 うちの富士山の誇りとなり、 訪れる人々をワクワクさせる

富士山は日本一高い山であり、季節や時間、場所ごとに異なる多彩な姿を見せてくれます。夏の「赤富士」、冬の「紅富士」、「ダイヤモンド富士」、「逆さ富士」など…、それぞれに名前が付けられ、その麓に広がる富士五湖や地域の暮らしと相まって、人々を惹きつける富士山の風景をつくり出しています。“富士の写真家”として国内外にひろく知られる岡田紅陽は、富士山を「富士子」と呼び、恋人のような想いで撮影していました。私たちの日々の暮らしの中で、いつもそこにある富士山は日本のシンボルであり、私たちの「心の山」として息づいています。

### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

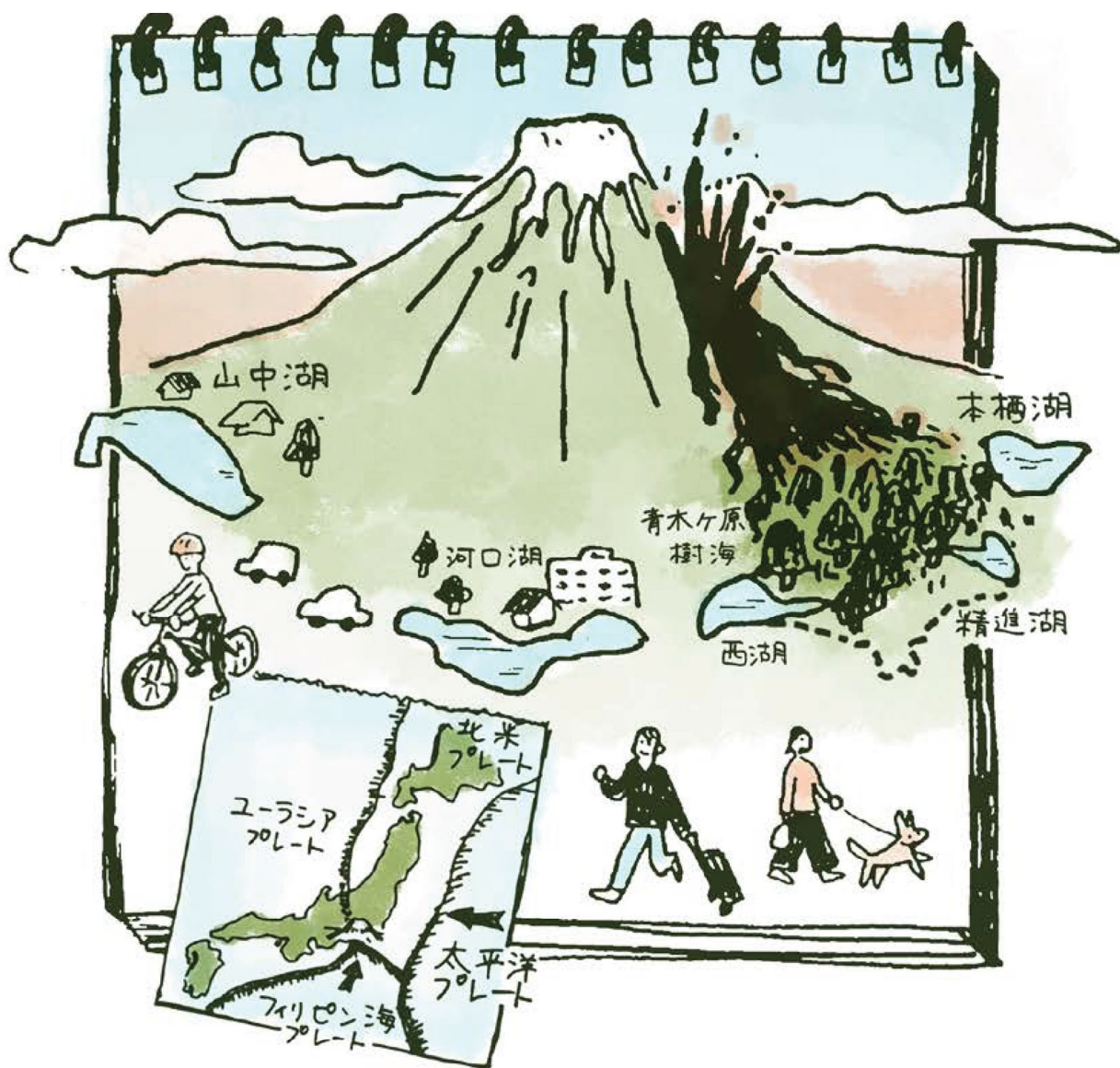
- 男富士と女富士
- 赤富士と紅富士
- ダイヤモンド富士、逆さ富士（田貫湖）
- 中ノ倉峠からの富士山



# 1-2

富士山麓ならではの価値-1: 火山としての富士山と麓の多様な生態系

## 地形地質





## 数十万年にわたる火山活動が、 広大な裾野や多くの洞窟をつくり出し、 ダイナミックな地球の営みを今も感じさせる

富士山は数十万年前から噴火活動をしている活火山です。「噴火のデパート」と呼ばれるほど様々な噴火をくり返しながらか、噴出物が堆積し、山体は現在の円錐に近い形となりました。多くの火山活動は、人々や生き物が暮らせる広大な裾野と湧水も与えてくれました。

貞観6年(864年)に富士山北麓で噴火・噴出した青木ヶ原溶岩流は、記録に残る中では最大の噴火で、東京ドーム1,000杯分に相当する13億 $\text{m}^3$ のマグマが噴出しました。溶岩流は溶岩洞窟(トンネル)や溶岩樹型を形成し、風穴、氷穴が無数に存在します。洞窟はそうした火山活動の痕跡に触れられる身近な秘境であり、信仰の対象、養蚕業、観光と多くの面で人々と関わり合い、生活や文化に息づいています。

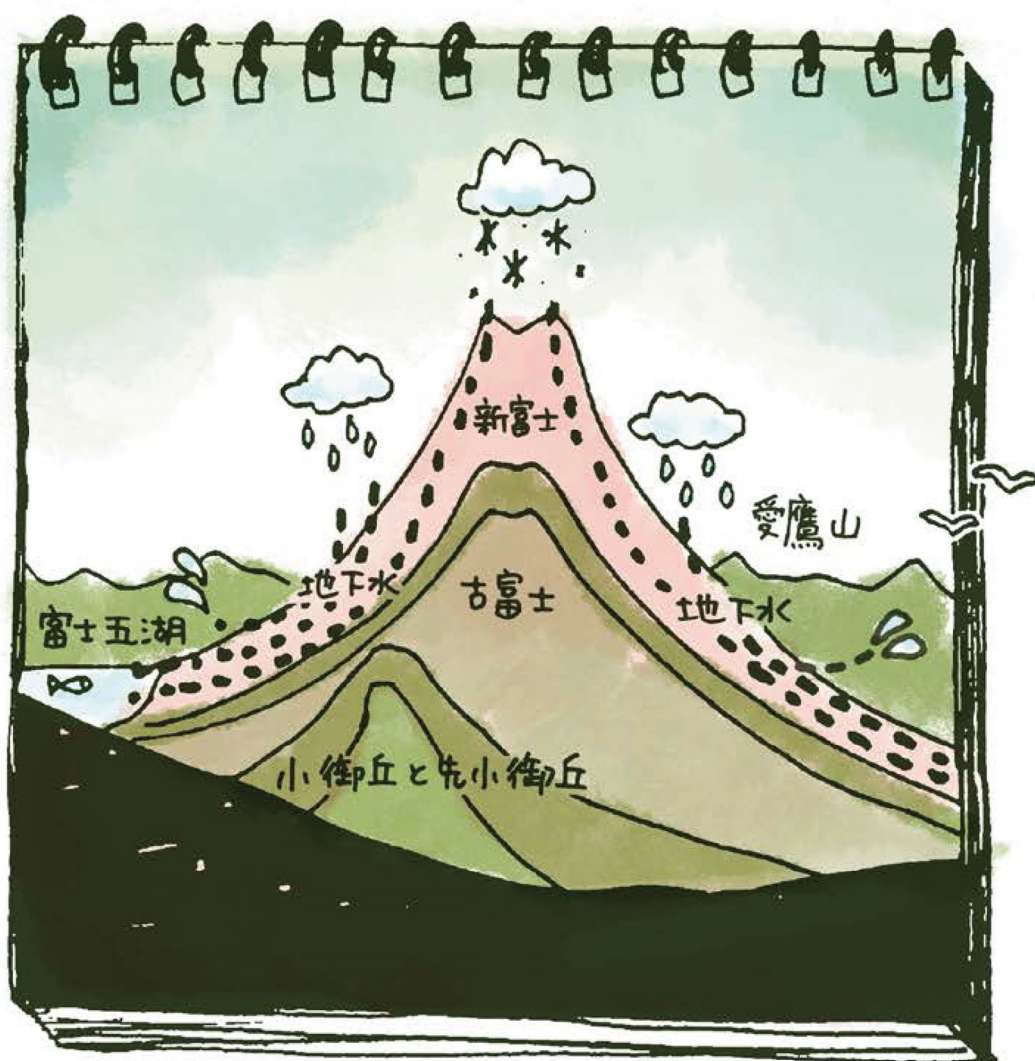
### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

- 溶岩洞窟(富岳風穴、鳴沢氷穴など)
- 溶岩樹型(陣馬の滝の太鼓石など)

# 1-3

富士山麓ならではの価値-1: 火山としての富士山と麓の多様な生態系

## 湧水



## 雨や雪が長い年月をかけて 富士山の地下に浸透し、豊かな湧水となって 水の世界をつくり出し、 地域の自然や人々の命を潤している

富士山には年間で約22億トン、東京ドーム約2,000杯分もの雨や雪が降り、1日約500万トンが富士山体へ浸みこみます。地下水は新旧の地層を十～数十年かけて旅し、溶岩の末端から湧き出して忍野八海や白糸の滝、陣馬の滝を潤しながら、富士五湖や川、駿河湾といった海へと流れ込みます。年間を通して水温約13～15度の清らかな湧水は、飲み水や陸や水の生き物を育む源となり、地域の生活と産業を支えています。富士山やその周辺の山体は、こうした豊かな水の流れを通して、自然や人々の命に恵みを与え続けています。

### ■ ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

- 「水の都」猪之頭、陣馬の滝
- 富士五湖（山中湖、河口湖、西湖、精進湖、本栖湖）



# 1-4

富士山麓ならではの価値－I：火山としての富士山と麓の多様な生態系

## 多様な生態系



## 噴火の歴史と標高差が生み出した 富士山麓の地形地質が、 生命力あふれる樹海をはじめ 多様な生態系を支えている

富士山麓は、幾度もの火山活動によって形成された地形、湖沼群、溶岩台地に広がる樹海、極限環境に適応した生き物、人々の手で維持されてきた草地など、多様な自然環境が共存する場所です。平安時代の貞観噴火によって一度リセットされた森では、苔と樹木が共生しながら遷移を続けています。標高差3,000メートル以上の厳しい環境の中、長い年月をかけて育まれたこの自然は、生命の力強さと変化の軌跡を映し出しています。

### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

- 青木ヶ原樹海
- 小田貫湿原
- 野鳥の聖地 山中湖

# 1-5

富士山麓ならではの価値－I：火山としての富士山と麓の多様な生態系

## 保全活動





## 住む人も訪れる人も一緒になって 環境保全の活動に参加し、 国立公園 富士山麓の自然の 価値を未来へつないでいる

富士山麓に広がる草原地は、地域に住む人が続けてきた野焼きで維持され、ごみ拾いや外来種駆除の活動には地域に住む人や企業が参加し、貴重な動植物がすみやすい環境や渡り鳥たちの貴重な越冬地を守っています。登山道整備の活動も利用者の安全を確保しつつ、植生を保全し、訪れる人々に豊かな自然体験を提供しています。こうした活動を通じて、富士山麓では人と自然が支え合い、日本の国立公園として共に未来へとつながる関係性を築いています。

### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

- 明神山ススキ草原
- 登山道補修の活動
- ごみパトロール・清掃活動



# 2-1

富士山麓ならではの価値-2：富士山と信仰、人々の暮らし

## 信仰と芸術



## 時代を越えて、誰もがその姿に圧倒される 富士山は、信仰の対象・芸術の源泉として 世界文化遺産に登録されている

日本一高くそびえる富士山は、その雄大な姿と神聖さから、古来より信仰の対象となり、また数多くの芸術作品の題材となってきました。火山活動が活発な時代には、自然に対する畏敬の念で麓から山頂を仰ぐ「遥拝（ようはい）」の対象、やがて噴火が鎮まると修験者の「登拝（とうはい）」の場となり、江戸時代以降は「富士講」が流行し、庶民にも富士山信仰が広まりました。また、『万葉集』や北斎の『富嶽三十景』、ゴッホの作品に至るまで、国内外の様々な芸術作品に影響を与えました。その普遍的価値が認められ、2013年に世界文化遺産に登録された富士山は、人々と自然との関わりを象徴する、未来に受け継ぐべき世界の宝です。

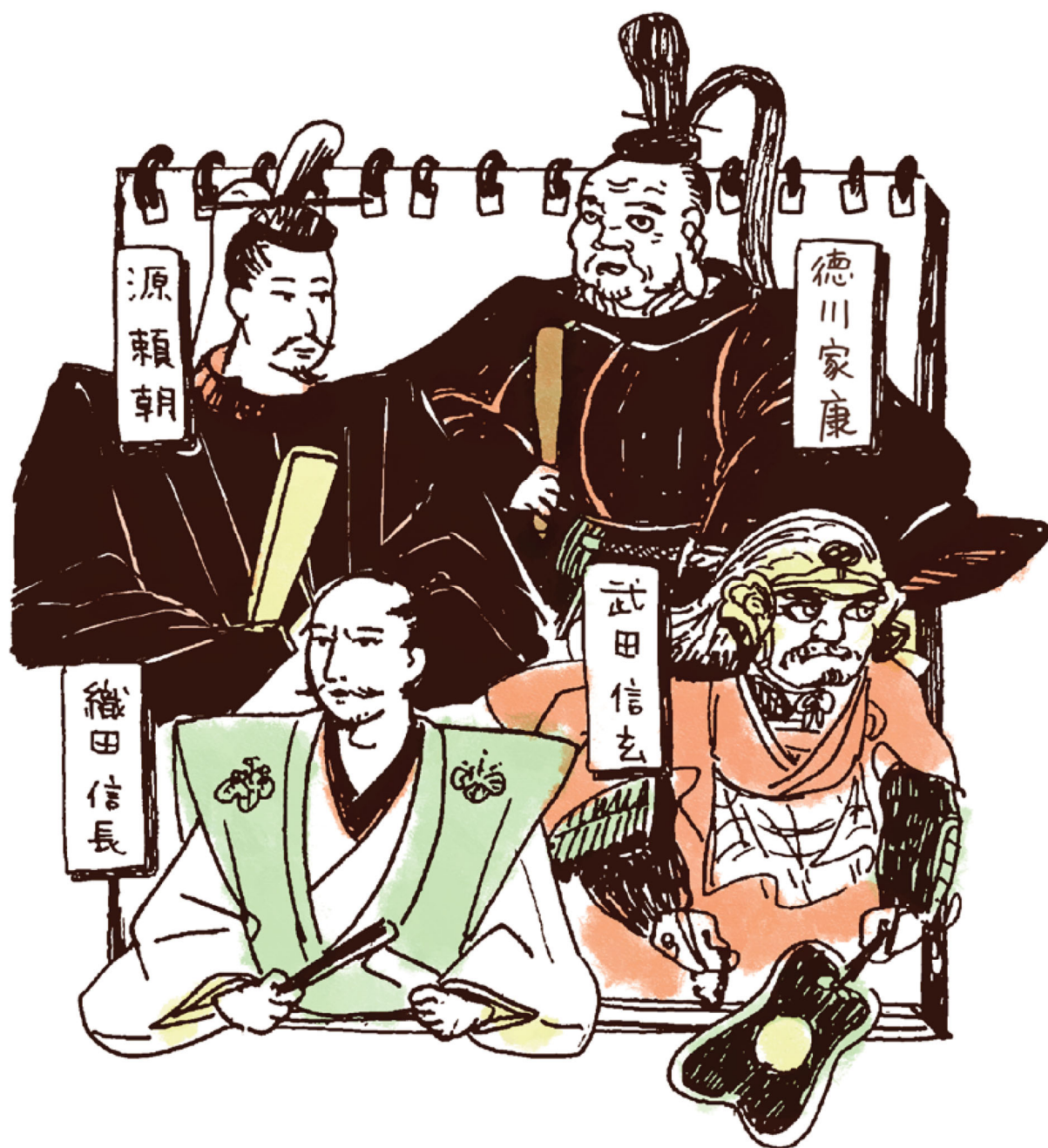
### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

- 富士山本宮浅間大社、北口本宮富士浅間神社
- 富士講
- 富士を題材とした芸術・文化

# 2-2

富士山麓ならではの価値-2：富士山と信仰、人々の暮らし

## 偉人の足跡



## 数々の伝説やゆかりの場所から、 誰もが知る歴史の偉人たちの 足跡を辿ることができる

富士山麓には歴史上の偉人たちが多く訪れ、その足跡を残してきました。古くは聖徳太子が黒駒で富士山頂に飛翔したという伝説、源頼朝の「富士の巻狩り」、織田信長が腰かけた「富士見石」、武田信玄が戦勝を祈願し徳川家康も寄進した浅間神社など、数多くの伝説やゆかりの場所が伝わっています。歴史上の人物と富士山の関わりやその舞台が、時代を越えて現代に語り継がれ、歴史のロマンを感じさせます。

### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

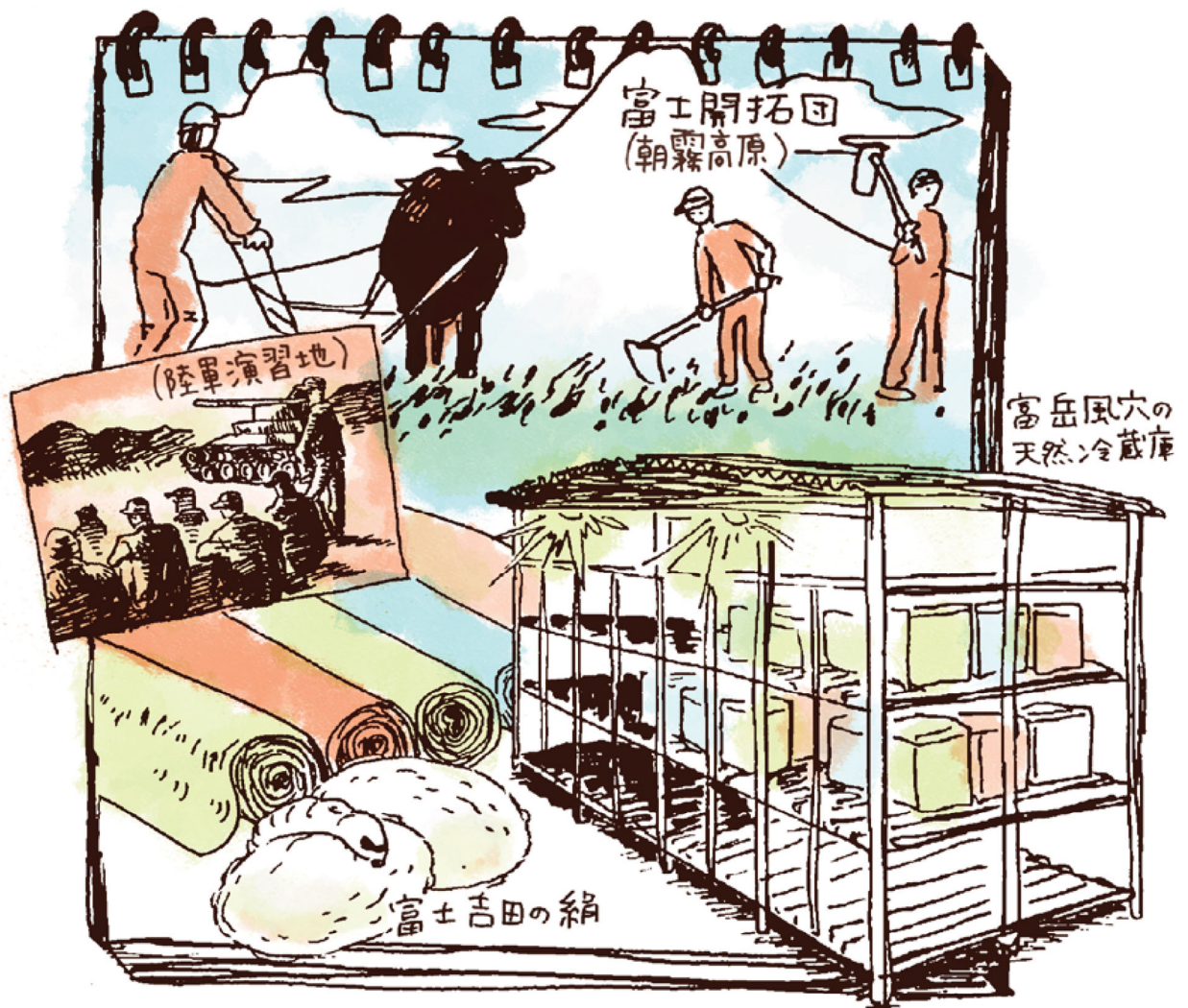
- 富士の巻狩りと源頼朝
- 白糸ノ滝、お鬢水（おびんみず）
- 北口本宮富士浅間神社と武田信玄



# 2-3

富士山麓ならではの価値-2：富士山と信仰、人々の暮らし

## 産業



## 火山灰や溶岩に覆われて痩せた土地でも、 逞しく生活した人々の知恵と工夫が 富士山麓ならではの産業を成長させてきた

富士山麓では、火山灰と溶岩に覆われて痩せた土壌と厳しい寒さの中でも、工夫を凝らし自然資源を活かした産業が発展しました。痩せた土地でも育つ桑を利用した養蚕業では、溶岩洞窟を蚕の卵の保存庫として活用し、出荷時期を調整することで生産量を安定させました。この繭は地域の絹織物産業を支え、富士吉田を富士講の参拝道としてだけでなく物流の中心地として発展させました。朝霧高原では富士開拓団が酪農を発達させ、乳製品の生産が地域の産業の基盤となりました。これらに代表される産業の歴史と文化は今も地域に息づき、観光業と結びついて富士山麓の魅力の幅を広げています。

### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

- “ハタオリのまち” 富士吉田  
（風穴・氷穴、甲斐絹、西裏地区）
- 朝霧高原

# 2-4

富士山麓ならではの価値-2：富士山と信仰、人々の暮らし

## お祭り





## みんなが楽しめる 新旧の多彩なお祭りやイベントが、 地域文化を彩っている

富士山麓では、歴史と伝統を受け継ぐ由緒あるお祭りから新たに誕生したイベントまで、大人も子供も、地域に住む人も観光客も一緒に楽しめる多彩な行事があります。日本三大奇祭である富士山鎮火祭「吉田の火祭り」、源頼朝にゆかりのある富士宮の「流鏑馬まつり」は、重要な伝統行事として全国に知られています。一方で、山中湖の「安産祭り」や河口湖の「稚児の舞」、各地の「道祖神まつり」のように、地域の繁栄を願い地元で大切にされてきたお祭りもあります。

### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

- 吉田の火祭り
- 流鏑馬まつり
- ハタオリマチフェスティバル



# 3-1

富士山麓ならではの価値-3：富士山麓の食の恵み

## 麺料理



## 場所も時代も成り立ちも異なる 各地の麺料理が、 人々の日々の暮らしと胃袋を支えている

稲作に不向きな痩せた土地が広がる富士山麓では、小麦を中心とする食文化が育まれてきました。戦国時代、武田信玄のもとで戦メシとして親しまれた『ほうとう』、織物が盛んな富士吉田市で織り手の女性を支えるため男性が打ったコシの強い『吉田のうどん』、街の駄菓子屋で製糸工場の女工たちに愛されたもちもちと弾力のある『富士宮やきそば』は、それぞれの地域で暮らしと文化を支えてきました。地元で愛されたこれらの料理は、今も人々の胃と心を満たし、観光客にも愛される地域の名物です。

### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

- 吉田のうどん
- ほうとう
- 富士宮やきそば

# 3-2

富士山麓ならではの価値-3：富士山麓の食の恵み

## 食材





## 寒く痩せた土地の中でも、 伏流水や山の食材を活かして育まれた 森・山・湖の様々な特産品がある

富士山麓の土壌は、火山灰と溶岩に覆われて痩せた土地であると共に、標高1,000メートル近い冷涼な気候条件で農耕には厳しい環境でした。人々は、山や森の資源を頼りにし、豊富な伏流水を活かした食文化を育んできました。山菜やキノコ、野草は地域の生活を支える重要な資源であり、江戸幕府御用達の薬草の産地もありました。富士山の伏流水で育つニジマスやワサビ、山中湖の公魚（わかさぎ）も特産品として親しまれています。伝統的な日本酒づくりやクラフトビール、鳴沢菜や煮貝、こんにゃく、芦川（あしかわ）の切り干し大根など、地域ごとに特色ある食材があります。これらは、富士山麓の自然と共に生きる人々の知恵と工夫の結晶です。

### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

- 猪之頭のワサビ
- 猪之頭のニジマス・山梨の富士の介
- 公魚（わかさぎ）



# 3-3

富士山麓ならではの価値-3：富士山麓の食の恵み

## 畜産とジビエ



## 畜産や狩猟・ジビエが、日常では学べない 「生と死」、「命をいただく」ことを 私たちに教えてくれる

富士山西麓は畜産が盛んで、雄大な富士山を背景に広大な牧草地と牛などの動物がのびのびと過ごす牧歌的風景が広がっています。かつてこの地は陸軍の演習地でしたが、戦後は開拓団が痩せた土地を耕し、今では命を育む場所に生まれ変わりました。また、富士山麓の山林では、増えすぎた野生動物による森林や農作物への被害が深刻化し、適切な頭数管理のため狩猟が行われています。ジビエは、その副産物として命を無駄にせず、食材として活かすものです。「感謝して命をいただく」ことを学ぶリアルコンテンツの宝庫です。

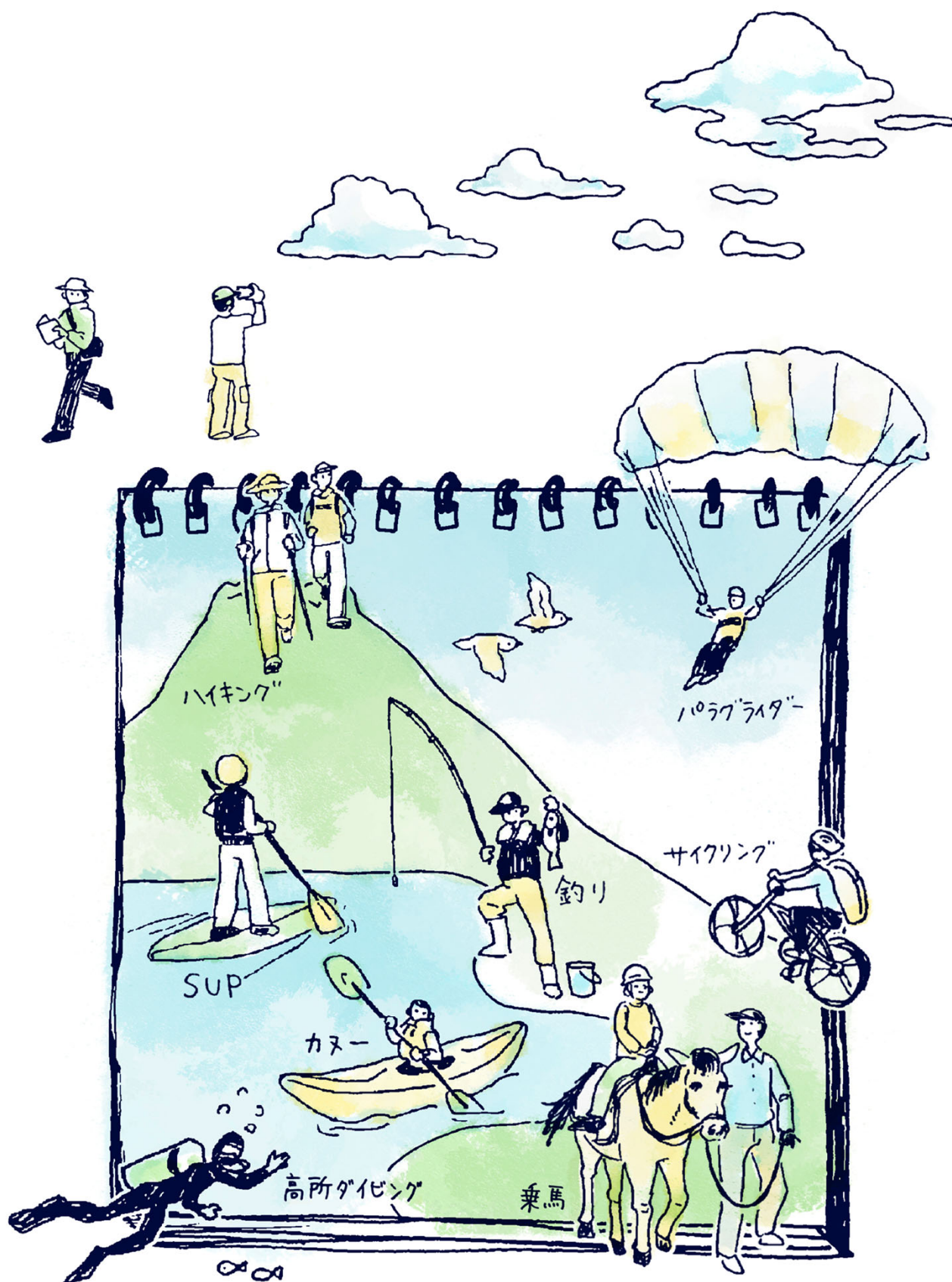
### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

- 富士山麓の獣害
- 富士山麓のジビエ文化と教育
- 朝霧高原での酪農体験

# 4-1

富士山麓ならではの価値-4：感動と学びを得る旅の舞台

## アクティビティ





## 雄大な富士山の麓では、陸も水も空も、 すべてが体験の舞台となり、 体験したからこそその ワクワクとドキドキが一生の思い出となる

富士山麓は、都心からのアクセスが良く、多くの人を訪れる観光地だが、一歩踏み入れると静かな自然が広がります。このエリアには、富士山と共に暮らしてきた人々の営みもあります。富士山の包容力と同様に陸・水・空で、富士山を満喫したい人々のニーズに応えられる多様な旅の仕方が富士山には揃っています。

### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

- 東海自然歩道を歩く
- ダイビング（本栖湖）
- カヌー、カヤック、SUP
- 釣り
- パラグライダー（朝霧高原）



# 4-2

富士山麓ならではの価値-4：感動と学びを得る旅の舞台

## 研究・教育施設



## 感動と学びを提供する 多様な施設が、 富士山麓の旅を豊かにする

壮大な自然と豊かな文化を背景に、多様な施設や公園が訪れる人々を迎えてくれます。富士山の自然や歴史、文化について学べる博物館や美術館、環境省の自然学校第1号「田貫湖ふれあい自然塾」、「生物多様性センター」のような体験・展示施設から、山梨県の富士山科学研究所や東京大学の富士癒しの森研究所といったアカデミックな施設、動物と触れ合える牧場まで、様々な施設が数多く集まっています。これらの施設では、深い知識や感動を得る学びの場だけでなく、アートやレジャーを楽しみ、富士山麓の豊かな自然の中で心身を休める時間を提供します。知る、学ぶ、楽しむ、そして癒される富士山麓の旅を豊かにする場所です。

### ■ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

- 田貫湖ふれあい自然塾
- 富士山世界遺産センター
- 環境省生物多様性センター



『富士山麓を「歩く旅」をもっと楽しむSTORY』は、フルバージョン・ハンドブック版をウェブサイトで公開しています。右記ウェブサイトの「取り組み事例」より、ご覧ください。周囲の方へもぜひご案内ください。



環境省HP：富士箱根伊豆国立公園満喫プロジェクト

発行元：富士箱根伊豆国立公園管理事務所

問合せ先：富士五湖管理官事務所（0555-72-0353）